

水戸市では、「納豆」をテーマにした様々な取り組みを行っているのをご存知ですか？ここでは「納豆」にまつわる情報やイベントを紹介します。

水戸市にはこんなにたくさんの納豆にまつわるコンテンツがあるんだよ！要チェック！



他とは違う!? 水戸の納豆の特徴

水戸の納豆の特徴は「小粒」。昔水戸は水害が多いために小粒の大豆が多く栽培されており、小さい豆でも美味しく作れる「納豆」として使われるようになりました。小さい豆はごはんに絡みやすく、ほかの納豆とは違った美味しさがあります。旅のお土産に、水戸ならではの納豆はいかがですか？



福藁プロジェクトの共通ブランドロゴ

農家×福祉で作る藁つと! 「福藁プロジェクト」

“藁つと”とは、「わら納豆」を包む、稲藁を束ねた包装のことです。近年、農業の機械化や高齢化により、この“藁つと”が減少傾向にあり、「わら納豆」の伝統を未来につなぐため、水戸市内の農家と福祉施設、納豆事業者、行政が協力して、納豆用の藁つとを供給するのが「福藁プロジェクト」です。そのほか、納豆用大豆の栽培から納豆づくりまでの体験事業などに取り組んでいます。

子どもから大人まで楽しめる! 納豆食べ方コンテスト

納豆の食べ方を募集するコンテスト。納豆好きから納豆が苦手な方まで、みんなが美味しく納豆を食べられるレシピが多数選出されています。入賞作品のレシピはホームページで公開中! 今日のごはんにかがですか？



HPはこちら

納豆に関するあらゆる情報が満載! 笹沼五郎商店「納豆なんでも展示館」



納豆の起源をはじめ、天狗納豆の由来や成り立ち、昔の納豆の作り方や売り場・納豆製造道具の展示、納豆の栄養や効用、さらには、なぜ水戸市の納豆が全国的に有名になったのかなど、納豆に関する知識はもちろん、水戸市と納豆の関わりが学べます。納豆に関する情報はここでチェック!

納豆の本場! 水戸市の納豆にまつわるイベント



水戸市では「納豆早食い世界大会」やわら納豆の無料配布イベントなど、様々な取り組みを行ってきました。毎年7月10日には「納豆の日」にちなんで、納豆にまつわるイベントが開催されています。2022年には、納豆の日を定めた条例も制定されました。一緒に納豆のイベントを楽しみましょう!



水戸×納豆の魅力がまるわかり

納豆の水戸

攻略ガイド



納豆の妖精 いばらきの魅力発信隊 ねばる君 © 710/MM



水戸市マスコットキャラクター みとちゃん

水戸の納豆歴史

水戸市は全国的にも「納豆」の名産地として知られていますが、そもそもなぜ水戸市が納豆で有名になったのをご存知でしょうか。ここでは水戸市における「知られざる納豆の歴史」を紐解いてみましょう。



2016年 納豆支出金額日本一奪還
2016年総務省家計調査における水戸市の年間納豆支出金額は、一世帯あたり5,565円となり、納豆支出金額日本一を奪還しました。水戸市が1位となったのは、2013年以来、実に3年ぶりでした。



YouTube のチャンネル 「ねばねばTV」で、子供から大人まで楽しめる動画を毎日配信しているネバ! ぜひ見に来てネバー!

父は大豆、母は納豆菌。納豆を世界中のみんなに好きになってもらうためにこの世に生まれた納豆の妖精。それがねばる君!



納豆の妖精 いばらきの魅力発信隊 ねばる君 © 710/MM



1083年 納豆誕生

水戸市と納豆の誕生には、深い繋がりがあります。源義家が奥州に向かう途中、水戸市渡里町の一盛長者の屋敷に泊まった折に、馬の飼料である「煮豆の残りから納豆ができた」という伝説が残っています。



1884年 納豆の商品化への挑戦

水戸「天狗納豆」の始祖・初代笹沼清左衛門は「江戸で好んで食べるものに絲引き納豆と言うものあり」という古文書に注目し、納豆の商品化を立案。独自の製法で絲引き納豆の商品化に成功しました。